



4月の始業式・入学式や学級開き、5月のゴールデンウィークも終わって、学校行事や学習活動に集中して取り組める季節になりました。暑い夏が来る前に新しい知識をインプットして気持ちを充電しておきましょう。教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。研究や研修にぜひお役立てください。教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日でも利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

① 『『死にたい』子どもたちと向き合う11のポイント 児童精神科の現場から伝えたいこと』

川邊憲太郎/著

(星和書店 2024年発行)

2025年1年間に全国で自殺した小中高生が532人に上り、2年連続で過去最多となっています。2000年頃から若い世代の死因の第1位は、病気でも交通事故でもなく自殺だそうです。本書は、児童精神科医として長年こうした子どもたちと関わってきた著者が、子どもの「死にたい」に正しく向き合える人が増えることを願って執筆したとのこと。第1章は著者やその周囲の方々が関わってきた事例を中心に展開されています。著者と子どもたちとの具体的なやり取りなど、子どもたちの声や雰囲気が直に伝わってくる内容で記述されており、その子どもと自分が対面しているような気がしてきます。子どもたちの言動を著者たちがどう受け止め対応してきたのかという解説を通して、「死にたい」子どもたちと向き合う事例研究ができるようになっていきます。第2章以降は、こうした子どもたちを理解し支援するポイントが詳述されており、第1章を理論的に肉付けする内容となっています。子どもたちの気持ちにいち早く気付き対応することで、悲しい出来事が少しでも減ることを願わずにはられません。

② 『子どもの思いとかかわり方がわかる 先生のための不登校対応サポートブック』

原田直樹/著

(中央法規 2025年発行)

2024年度の調査によると、小・中学校における不登校児童生徒数は353,970人(前年度346,482人)で過去最多となり、12年連続で増加しているとのこと。文部科学省においても、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」等を発出して対応を進めていますが、現場の一教師としてできることは何かを考えるときに、この本がヒントになるでしょう。著者は福岡県立大学「不登校・ひきこもりサポートセンター」で専門職員として勤務し、現在も同大学看護学部の准教授として教育・支援に携わっています。不登校の子どもたちに関わる時、その原因は何か、原因を除去すれば登校できるようになるのではないかと考えがちですが、著者によると原因追及は犯人探しになってしまうことが多く、期待するほどの効果を得られない場合が多いとのこと。まず大切なのは、不登校の子どもや保護者が何を思い何を望んでいるのかをよく知ること。本書の第2章「不登校の子どもたちの声を聴く」に多様なケースの子どもたちの声が紹介されています。登校できない理由が自分でもわからず親にも申し訳なく、「人生、詰んだ」という嘆きが胸に刺さります。さらに第3章「エピソードから考え

る『先生』の役割」で、不登校の多様なパターンからその背景やとらえ方を示した上で「先生だからできること」を提案してくれています。そもそも教員はもともと多忙な上に専門外のことまで抱えてほぼ限界の状態。心理・福祉など専門外の対応は抱え込まず、伴走者としてつながりつつ専門家に橋渡しすることも大切と指摘します。第4章「不登校支援のための資源と制度」で活用可能なリソースが紹介されています。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	5月号	<p>【巻頭連載】図解でわかる新学習指導要領のキーワード</p> <p>【特集】知るだけでうまくいく発問パターン大全</p> <p>◇知っておきたい発問パターン ◇どっちを選ぶ？発問くらべ</p> <p>◇授業のうまい先生がやっている発問術 6つのポイント</p> <p>◇3つの発問パターンとそのポイント ◇導入発問のパターン大全</p> <p>◇中心発問（ゆさぶり発問）のパターン大全</p> <p>◇一般化・応用発問のパターン大全</p> <p>【連載】◇世界一わかりやすい 今月の指導案図解</p> <p>◇樋口綾香先生のおすすめ「教材研究」ストック</p> <p>◇みんなで読みたい 国語教育 この論文</p> <p>◇今月の「国語の学び」レポート</p>
社会科教育 (明治図書)	5月号	<p>【特集】資質・能力を高める！「深い学び」を実現する単元づくり</p> <p>◇「教科の主要な概念」の深い理解を目指した授業づくりのポイント</p> <p>◇「持続可能な社会の形成者」に必要な資質・能力の基礎を培う！協働的な学習活動デザイン</p> <p>◇改めておさえておきたい！発達段階や教科の特性を踏まえた学び方・伝え方</p> <p>◇見方・考え方を育てる！「資質・能力」に関わる視点と深い学びを実現する単元づくりのポイント</p> <p>◇【授業最前線】資質・能力を高める！「深い学び」を実現する単元づくりと授業プラン 小学校・中学校・高等学校</p>
数学教育 (明治図書)	5月号	<p>【特集】永久保存版 一生モノの授業・評価の技術100</p> <p>◇「板書計画（板書型指導案）づくり」の技術</p> <p>◇「一気に授業に引き込む導入」の技術</p> <p>◇「生徒の『問い』を引き出す問題提示」の技術</p> <p>◇「『多様な考え』を引き出す問題提示」の技術</p> <p>◇「指示・説明」の技術 ◇「自己解決の見取り・支援」の技術</p> <p>◇「思考をゆさぶる発問」の技術 ◇「誤答・誤概念の活用」の技術</p> <p>◇「ペア学習のサポート」の技術 ◇「グループ学習のサポート」の技術</p> <p>◇「全体での話し合いのファシリテート」の技術 など</p>
理科の教育 (東洋館出版社)	5月号	<p>【特集】「できた」「わかった」の次を目指せる理科授業</p> <p>◇児童生徒が自然現象の理解の枠組みを自ら更新し続ける理科授業とは</p> <p>・探究とは個別主体的な学びを実現するもの</p> <p>ティーチングとコーチングの視点から探究をつくる</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・理科の「わかった！」のその先へ 「理解の更新」を捉える理論と実践の視点 ◇具体的な単元での授業の工夫事例 ・小学校第3学年「ゴムのはたらき」、第4学年「ものの温まり方」、第5学年「振り子の運動」 他 ・中学校第2学年「気象」 他 ・高等学校物理 「つり合う＝水平」という既有概念を揺さぶる力のモーメントの授業 他 【連載】◇10円玉でわかる！自然界最強の六角形 ◇「聞き方」を変えたら、子どもが話した 相互授業で成績下位層が伸びた授業実践
英語教育 (大修館書店)	5月号	<ul style="list-style-type: none"> 【第1特集】学びを記録に残そう フィードバックに活かす・成長の実現のために ◇自律的学習者を育むための学びの記録 ◇語彙知識の成長履歴を可視化する ◇児童の「できる」を見取る日常記録 ◇学習データでわかること・できること 【第2特集】新年度から考えたい 入試を見据えた指導のイメージ ◇2026年度大学入試共通テスト「英語（リーディング）問題」の分析 ◇英作文問題に対応するための「思考力・判断力・表現力等」を高める授業実践 ◇ポジティブ・リーディング（能動読み）で入試を乗り越える読解力を
道徳教育 (明治図書)	5月号	<ul style="list-style-type: none"> 【特集】図解 道徳授業技術のすべて 教材分析 導入 教材提示 発問 問い返し 板書 話し合いの構築 言語活動 表現活動 終末 評価 教具 教材作成（自作教材） ICT活用・AI活用 【連載】◇道徳教育2030 新学習指導要領に向けての提言 ◇新・道徳授業論 道徳授業で「多様性の包摂」を実現する ◇道徳授業の臨機応変力を鍛える！ ◇道徳授業4人4様 同じ教材、違う授業。そこに先生の工夫あり ◇「よい道徳授業」は誰が決めるのか 教師の自己満足と子どもの満足
授業力&学級経営力 (明治図書)	5月号	<ul style="list-style-type: none"> 【特集】準備不要！1分間の学級あそび100 ◇学級開き；友達との距離が縮まる、友達のことを知る、先生とつながる、安心できる ◇つながりをつくる；話す・聞く、友達と協力する、クラス全体で協力する ◇空気をほぐす；緊張をほぐす、とにかく笑える、静かすぎる ◇落ち着いて考える；リラックスする、声を出さない ◇だれでも参加できる；勝ち負けがない、一人でできる 【連載】◇「学級開き」の後の倦怠感と「聴く」技術 ◇教室でのAIとの向き合い方を試行錯誤してみた 学級通信は0秒で書けます。「箇条書き」マジック ◇教えて菊地先生！ほめ言葉があふれる学級づくり授業づくり

生徒指導 (学事出版)	5月号	<p>【特集】「令和の集団指導」へアップデート！</p> <p>◇発達支持的生徒指導の機能を生かした「集団指導」 いじめと不登校の背景にある人間関係の課題と学校風土研究から考える集団づくり</p> <p>◇探究による新たな集団指導</p> <p>◇「心理的安全性」を基盤とした教育環境づくり</p> <p>◇軍事的世界観に偏らない集団指導へ（高校）</p> <p>◇生徒の「個」が輝くための集団指導（中学校）</p> <p>【第23回学事出版教育文化賞 優秀賞受賞論文】</p> <p>児童生徒の多様な解釈を許容する学級自治 学級通貨と会社活動を通じた自己決定と協働の意義</p> <p>【連載】◇不登校 子ども・若者のための居場所支援</p> <p>◇いじめを重大事態化させないために特別活動が果たす役割 生徒総会、その先に ルールメイキングを超えて</p> <p>◇生徒指導事案リーガルナレッジ いじめ</p> <p>◇リーダーのための教育視座 エクイティを意識したい！</p>
	増刊号	<p>「ライブ講義」でわかりやすい！教育相談入門</p> <p>◇今さら聞けない「そもそも教育相談って何？」</p> <p>◇今さら聞けない「そもそもカウンセリングって何？」</p> <p>◇教育相談と学校の諸活動</p> <p>◇教育相談・関連最新トピック12</p>
教職研修 (教育開発研究所)	5月号	<p>【特集1】不登校支援、子どもの「幸せ」にどうつなげるか 保護者・教師の葛藤とともに</p> <p>◇「学校に来る」をゴールとしない、子どもたちの「幸せ」を目指す不登校支援</p> <p>◇「無理をしてはいけない」休息が必要な子どもたちへ</p> <p>◇「行きたくても行けない」子どもたちへ 14行動の習得で社会的自立、再登校、不登校未然防止</p> <p>◇子どもたちの「幸せ」とは何か？ 不登校のその先、子どもたちの人生を思い描く</p> <p>◇保護者を孤独にしない不登校支援 学校は「解決者」でなく「伴走者」でよい 他</p> <p>【特集2】校長の目配り 隣の校長の視座・視野・視点</p> <p>◇校長の目配りの基本 ◇あの校長は、何をどう見てる？</p>
初等教育資料 (東洋館出版社)	5月号	<p>【特集】改訂に向けた検討事項と、今、大切にしたい取組② [算数、生活、総合的な学習の時間]</p> <p>1 改訂に向けた議論・方向性についての周知</p> <p>2 現行学習指導要領の更なる趣旨の徹底と実現</p> <p>【教育の扉】出会いがくれた、生きる理由/サヘル・ローズ</p> <p>【指導主事アイ】生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成する授業づくりに向けて 香川県教育委員会主任指導主事 田中明日香</p>
中等教育資料 (学事出版)	5月号	<p>【特集】学習指導要領改訂に向けて 各教科等別ワーキンググループにおける審議状況②</p>

		<p>◇算数・数学 WG における検討事項</p> <p>◇総合的な学習・探究の時間 WG における審議事項</p> <p>【連載】◇各教科等の改善・充実の視点</p> <p>◇特別支援教育 ワーキンググループでの審議状況①</p>
<p>学習情報研究 (学習情報研究センター)</p>	5月号	<p>【特集1】生成 AI を活用した授業づくり</p> <p>●人・AI 共生社会において生成 AI と賢く付き合うための教育と評価に向けて ●学びを深めるための生成 AI の活用 ●高校プログラミング教育における生成 AI 活用の考え方 ●生成 AI を活用した授業後の振り返り支援と教師の授業改善 ●小学校高学年における仲間と生成 AI との対話を通じた深い学びの授業実践 ●生徒と教師が共に育む AI リテラシー</p> <p>●教職大学院における生成 AI 活用力を育てる教員養成の在り方</p> <p>【特集2】校務 DX と教育データ活用</p> <p>●校務 DX と教育データ活用の現在地と展望 ●校務 DX と学校アップデート ●生成 AI の校務での活用に関する実証研究 ●「紙と勘」から「データと対話」へ ●小学校でのデジタル週案導入における校務効率化に関する教員の評価 ●「即時性」が可能にする学校運営</p>
<p>実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)</p>	5月号	<p>【特集】境界知能児者の課題と支援 学校現場だからこそできること</p> <p>◇学齢期の境界知能の子どもの姿や将来の見通しは？</p> <p>◇学校で気づくポイントや必要な指導・支援は？</p> <p>◇境界知能と知的障害、境界知能と発達障害との違いは？</p> <p>【連載】◇ダウン症候群の子どものための発話明瞭を目指す演技レッスン</p> <p>◇楽しく学べる教材いろいろ なにがなんでも覚える！10の補数</p> <p>◇「聞く・分ける・つなぐ」活動からスタート！外国語活動の授業づくり</p> <p>◇知的障害特別支援学校の生活科・理科・社会科の授業レシピ</p> <p>◇思春期の子どもを支える中学校通級 通級指導教室の1年の流れ</p> <p>◇うちの子にジャストフィットな合理的配慮 LD</p>
<p>特別支援教育研究 (東洋館出版社)</p>	5月号	<p>【特集】知的障害教育における「深い学び」とは</p> <p>◇「探究的な学び」と「深い学び」について/田村学</p> <p>◇児童の興味・関心のあることから始まる学び</p> <p>◇知識が場面とつながる「深い学び」の実現に向けて</p> <p>◇子供の確かな学びを育む授業づくり 他</p> <p>【連載】◇各教等を合わせた指導の学習評価の考え方</p> <p>◇教科の見方・考え方を働かせた学びを実現する ICT の活用 高等部音楽科の授業実践</p> <p>◇児童のキャリア発達を支えるめあて決めと振り返りの実践 「ひまわり商店街」の実践を通して</p>
<p>特別支援教育 (東洋館出版社)</p>	春号	<p>【特集】資質・能力の着実な育成に向けた授業づくり</p> <p>◇図形の確かなイメージ形成を目指した授業づくり</p> <p>◇聴覚障害教育における学び合い深め合う討論を目指して</p> <p>◇学びの充実を目指した生活単元学習の授業づくり</p> <p>◇肢体不自由児における「数」の概念形成と活用</p> <p>◇理科における資質・能力の着実な育成に向けた授業づくり (病弱教育)</p>

		<p>◇自閉症・情緒障害特別支援学級の教科における資質・能力の着実な育成に向けた授業づくりの工夫</p> <p>【連載】◇重度肢体不自由児から教わった教育・福祉との連携</p> <p>◇実践 ICT 活用 分身ロボットによる病弱教育の参加保障と学びの展望</p>
<p>学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)</p>	<p>4月号</p>	<p>【特集】学校図書館の力 まずは機能と役割を見つめよう</p> <p>◇学校図書館関係法令・通知等を知ろう</p> <p>◇全国学校図書館協議会制定の基準・規準</p> <p>◇学校図書館の3つの機能とは</p> <p>【連載】◇「第5回情報活用授業コンクール」受賞校の授業実践(優秀賞)</p> <p>◇未来の学校を図書館でぜんぶ先にやる 「AI丸投げ読書感想文」と「100冊読書感想文」</p>
<p>高校教育 (学事出版)</p>	<p>5月号</p>	<p>【特集】高校教育改革の「次」は？</p> <p>◇次なる高校教育改革に向かって</p> <p>◇高校教育改革を現場で実装するために</p> <p>◇「みんなで育む高校教育」への転換</p> <p>◇高校教育を「学びのエコシステム」へと進化させる契機に</p> <p>◇見えてきた、私立高校授業料「無償化」の高校教育への影響</p> <p>【連載】◇高校・働き方改革のリアル 部活動 それは負担か、それともやりがいかな？</p>
<p>学校事務 (学事出版)</p>	<p>5月号</p>	<p>【特集】学校事務職員の生成 AI 活用の現状とこれから</p> <p>【特集】学校事務職員の生成 AI 活用の現状とこれから</p> <p>◇学校現場での生成 AI 活用の現状とこれから</p> <p>◇学校事務の「景色」を変える生成 AI</p> <p>◇生成 AI を活用した業務の進め方</p> <p>◇生成 AI と、室員の対話による共同学校事務室の実践</p> <p>◇生成 AI を活用した学校キャラクターの表現拡張と情報発信</p> <p>◇生成 AI で進める学校事務の業務改善</p> <p>◇生成 AI 活用に求められる人間の力</p> <p>【特別企画】「判断・実務・総括」で再構築する教材費会計</p> <p>【連載】◇学校事務 ICT 時短術 様式等マルチプリントシステム</p> <p>◇初心者からマネできる！ 学校財務「基本のキ」 「柳澤式」実践と理論 予算書をつくろう (Plan)</p> <p>◇気になる教育トピック 学校の働き方改革、負担軽減に向けて</p>